

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03 (3498) 1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03 (6826) 8881
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年11月12日に提出した第33期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1)業績の状況

###### (2)キャッシュ・フローの状況

###### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

#### 第4 経理の状況

##### 2. 監査証明について

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1)四半期連結貸借対照表

###### (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

###### 四半期連結損益計算書

###### 第2 四半期連結累計期間

###### 四半期連結包括利益計算書

###### 第2 四半期連結累計期間

###### (3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

###### 注記事項

###### (セグメント情報等)

###### セグメント情報

###### (1株当たり情報)

### 独立監査人の四半期レビュー報告書

### 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(百万円)	16,566	17,102	34,695
経常利益(百万円)	305	525	846
四半期(当期)純利益(百万円)	236	217	587
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	335	373	372
純資産額(百万円)	5,814	5,963	5,823
総資産額(百万円)	15,757	14,779	16,224
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	17.44	16.06	43.28
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	33.9	37.3	33.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	356	679	1,331
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	107	121	195
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	604	666	815
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	3,503	4,072	4,179

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.09	10.33

(省略)

(訂正後)

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(百万円)	16,566	17,102	34,695
経常利益(百万円)	318	533	871
四半期(当期)純利益(百万円)	246	223	649
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	348	381	455
純資産額(百万円)	5,650	5,876	5,728
総資産額(百万円)	15,593	14,692	16,129
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	18.14	16.50	47.87
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	33.5	37.1	32.8
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	356	679	1,331
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	107	121	195
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	604	666	815
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	3,503	4,072	4,179

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.44	10.55

(省略)

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(訂正前)

(省略)

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比274百万円増加(同5.8%増加)しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比85百万円の増加(同1.9%増加)にとどまったことで、営業利益は485百万円(同63.8%増)、経常利益は525百万円(同72.1%増)となりました。

また、税金費用の増加等により四半期純利益は217百万円(同7.9%減)となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比274百万円増加(同5.8%増加)しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比89百万円の増加(同2.0%増加)にとどまったことで、営業利益は493百万円(同59.7%増)、経常利益は533百万円(同67.7%増)となりました。

また、税金費用の増加等により四半期純利益は223百万円(同9.0%減)となりました。

(省略)

#### (2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(訂正前)

営業活動の結果獲得した資金は679百万円(前年同期比90.7%増)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が449百万円、売上債権の減少による資金の増加が1,238百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が1,064百万円あったことによるものです。

(訂正後)

営業活動の結果獲得した資金は679百万円(前年同期比90.7%増)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が457百万円、売上債権の減少による資金の増加が1,238百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が1,064百万円あったことによるものです。

## 第4 【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

—

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,023,520
無形固定資産		
のれん	626,805	543,929
その他	204,528	189,128
無形固定資産合計	831,333	733,057
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,374,095
その他	1,302,082	1,256,728
貸倒引当金	405,861	392,861
投資その他の資産合計	3,060,866	3,237,962
固定資産合計	4,867,001	4,994,540
繰延資産	2,352	1,134
資産合計	16,224,284	14,779,299
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	2,144,398	2,129,976
自己株式	101,663	101,663
株主資本合計	4,392,712	4,407,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,107,326
為替換算調整勘定	1,883	4,321
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,103,005
新株予約権	855	2,944
少数株主持分	458,228	450,423
純資産合計	5,823,088	5,963,507
負債純資産合計	16,224,284	14,779,299

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,023,520
無形固定資産		
のれん	532,384	457,376
その他	204,528	189,128
無形固定資産合計	736,913	646,505
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,374,095
その他	1,302,082	1,256,728
貸倒引当金	405,861	392,861
投資その他の資産合計	3,872,588	3,923,684
固定資産合計	4,772,581	4,907,988
繰延資産	2,352	1,134
資産合計	16,129,864	14,692,747
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	2,215,582	2,195,228
自己株式	101,663	101,663
株主資本合計	4,321,528	4,341,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,107,326
為替換算調整勘定	1,883	4,321
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,103,005
新株予約権	855	2,944
少数株主持分	434,991	429,122
純資産合計	5,728,668	5,876,955
負債純資産合計	16,129,864	14,692,747

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	16,566,987	17,102,454
売上原価	11,817,978	12,079,268
売上総利益	4,749,009	5,023,185
販売費及び一般管理費	4,452,810	4,537,865
営業利益	296,199	485,320
( 中略 )		
経常利益	305,628	525,927
( 中略 )		
税金等調整前四半期純利益	298,667	449,295
法人税、住民税及び事業税	65,625	183,647
法人税等調整額	864	24,030
法人税等合計	66,489	207,678
少数株主損益調整前四半期純利益	232,178	241,616
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	4,324	23,747
四半期純利益	236,502	217,869

( 訂正後 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	16,566,987	17,102,454
売上原価	11,817,978	12,079,268
売上総利益	4,749,009	5,023,185
販売費及び一般管理費	4,440,170	4,529,996
営業利益	308,839	493,188
( 中略 )		
経常利益	318,268	533,796
( 中略 )		
税金等調整前四半期純利益	311,308	457,163
法人税、住民税及び事業税	65,625	183,647
法人税等調整額	864	24,030
法人税等合計	66,489	207,678
少数株主損益調整前四半期純利益	244,818	249,485
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	1,213	25,684
四半期純利益	246,032	223,801

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,178	241,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,340	134,219
持分法適用会社に対する持分相当額	1,026	2,437
その他の包括利益合計	103,314	131,781
四半期包括利益	335,492	373,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,910	349,582
少数株主に係る四半期包括利益	4,418	23,816

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244,818	249,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,340	134,219
持分法適用会社に対する持分相当額	1,026	2,437
その他の包括利益合計	103,314	131,781
四半期包括利益	348,132	381,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,440	355,514
少数株主に係る四半期包括利益	1,307	25,753

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298,667	449,295
減価償却費	172,527	126,473
のれん償却額	89,842	82,876
(中略)		
小計	461,341	744,613
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	311,308	457,163
減価償却費	172,527	126,473
のれん償却額	77,202	75,008
(中略)		
小計	461,341	744,613
(省略)		

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,230
「その他」の区分の利益	4,890
セグメント間取引消去	13,512
のれん償却額	73,542
棚卸資産調整額	5,133
四半期連結損益計算書の営業利益	296,199

(省略)

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	520,987
「その他」の区分の利益	17,920
セグメント間取引消去	3,047
のれん償却額	50,540
棚卸資産調整額	-
四半期連結損益計算書の営業利益	485,320

(省略)

(訂正後)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,230
「その他」の区分の利益	4,890
セグメント間取引消去	13,512
のれん償却額	60,902
棚卸資産調整額	5,133
四半期連結損益計算書の営業利益	308,839

(省略)

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	520,987
「その他」の区分の利益	17,920
セグメント間取引消去	3,047
のれん償却額	42,672
棚卸資産調整額	-
四半期連結損益計算書の営業利益	493,188

(省略)

( 1株当たり情報 )

( 訂正前 )

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	17円44銭	16円6銭
(算定上の基礎)	—	—
四半期純利益金額(千円)	236,502	217,869
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	236,502	217,869
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 省略 )

( 訂正後 )

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円14銭	16円50銭
(算定上の基礎)	—	—
四半期純利益金額(千円)	246,032	223,801
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	246,032	223,801
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 省略 )

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 須永 真樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年11月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。